

# 審判運営要領

## 1 試合開始時刻

別紙 審判表のとおり

## 2 試合開始の伝達

各試合の主審は、両チームに試合開始時刻（審判表による）を伝える。試合開始 5 分前にも「5 分前」の連絡を行う。

## 3 試合開始

各試合の主審は、試合開始時刻になったら、両チームの選手をホームベース上に整列させ、ジャンケンで先攻/後攻を決定させた後、挨拶をさせる。

## 4 失格の宣告

万一、試合開始時間までに 9 人揃わなかった場合は、主審は、そのチームに対して「失格」を宣言する。（不戦敗となる）

## 5 選手の確認

やむを得ない場合は、登録選手（ユニホーム着用選手）外の出場を認めているが、投手は認めていないので投手がユニホームを着ているかどうかを確認すること。

## 6 試合時間

通常 7 回の試合を行うが、試合時間は、「プレーボール」を宣告してから 1 時間 50 分（1 日目は 1 時間 40 分）を超えて次の回に入らないこととする。

※ ただし、グラウンド確保時間に試合が終了しない場合は、確保時間の 15 分前に終了しているイニングをもって勝敗をつける。ただし、試合成立は 4 回とする。

※ 「プレーボール」を宣言時間については、スコア・ボード等に記入すること。

※ 近くに両チームが確認できる時計があれば、その時計を利用すること。

※ 時間切れの可能性があるときは、その回が始まる前に「〇時〇分まで」と両チームに示す。

## 7 同点の場合

最長の 1 時間 50 分（1 日目は 1 時間 40 分）経過後同点の場合は、最長 1 回の無死満塁（打順は自由、前打者 3 人は走者）でのゲームを行い、最終的に同点の場合は、9 人のジャンケンで勝敗をつける。

## 8 コールドゲーム（得点差）

5 回成立後、10 点差以上の差がついた場合は、コールドゲームとし、ゲームを成立させる。但し、準決勝・決勝は採用しない。

## 9 コールドゲーム（雨天時等）

4 回を成立している試合は、試合成立とみなす。試合成立していない場合は、再試合とする。  
※審判担当者に周知徹底を図ること。